

## 第1回 藤沢駅南口交通広場調整会議 議事要旨

■日 時：2017年（平成29年）12月8日（金）午後2時15分から午後4時00分まで

■場 所：藤沢商工会館（ミナパーク） 303 会議室  
（神奈川県藤沢市 藤沢 607-1）

■出席者（敬称略 50音順）

会 長：岡村敏之

委 員：飯森均、大澤伊知郎、川崎隆之、北村和利、幸嶋規之、佐藤大作、高橋優介、  
西村靖生、八山晋一郎、前田静男、三上雅之

事務局：藤沢市 都市整備部 藤沢駅周辺地区整備担当、株式会社日建設計

■議事次第

1. 開 会

2. 議 題

（1）藤沢駅南口交通広場調整会議の設置について

（2）藤沢駅南口駅前広場及び藤沢駅周辺の状況と課題について

3. その他

■議事概要：

○参加委員の自己紹介の後、事務局より配布資料の説明として、藤沢駅南口駅前広場及び藤沢駅周辺の状況についての説明を行い、意見交換を行った。課題として「乗り換えについての課題」「駅前広場内の動線の交錯における課題」「駅前広場への一般車の流入における課題」「荷捌き車両における課題」「駅前広場周辺の歩行者における課題」「周辺の道路状況における課題」が出た。また、「駅前広場内に必要な機能について」意見が出た。意見概要は次のとおりである。

## <乗り換えについての課題>

### 駅全体について

- ▶鉄道間の乗り換えがわかりにくい。
- ▶バス利用者について北口と南口を間違える人が多い。

### 南口について

- ▶バス乗り場が分散していてわかりづらい。
- ▶バス待ち行列が長く、歩行者の通行を妨げている（歩道が狭い）。

## <駅前広場内の動線の交錯における課題>

- ▶車両が6方向から流出入しており、バスとタクシーの動線が交錯し危険。
- ▶タクシープール等道路を横断する歩行者が多く、危険。
- ▶横断歩道の歩行者の通行量が多く、車との動線が交錯しており、危険。

## <駅前広場への一般車の流入における課題>

- ▶降雨時等に一般車の流入が増加し、バス運行に遅れが生じる。
- ▶周辺商業施設への動線としての一般車動線は必要かもしれないが、駅前広場内や周辺の道路状況としてはうまく棲み分けする必要がある。

## <荷捌き車両における課題>

- ▶一般車の乗降場や、駅前広場の周辺の道路に荷捌き車両が駐停車しており、他の車両の通行の妨げとなっている。
- ▶一般車乗降場で荷をおろし、広場を横断し周辺街区へ運搬しており、危険。

## <駅前広場周辺の歩行者における課題>

- ▶駅周辺では歩行者の利用が多く、歩行者にとって必要なものを検討すべき。

## <周辺の道路状況における課題>

- ▶狭い道路が多く、死角も多く危険である。
- ▶周辺道路のネットワークが藤沢駅に車両が集中する構造になっている。

## <駅前広場に必要な機能について>

- ▶南口駅前広場として、受け止めるべき機能と広場の外で解決すべき機能を整理し、駅前広場の運用とマネジメントの方策を検討していくべき。

- 1) 緑地
  - ▶駅前広場の面積に対して、緑地が広すぎるのではないか。
  - ▶規模にもよるが、駅前広場に憩える空間は必要である。
  - ▶必ずしも緑豊かな駅前広場が良いというわけではない。
- 2) 駐輪場
  - ▶駅前広場内での駐輪場整備は難しい。
- 3) その他
  - ▶駅前広場にあると良い空間を検討していきたい。
  - ▶イベント等ができる空間があると良い。